

令和5年度 第3回高齢者歯科医療講習会

- ◆日時 令和6年2月11日（日） 10時00分～12時20分
- ◆会場 静岡県歯科医師会館 5F「501大会議室」
- ◆対象 会員歯科医師及びスタッフ、多職種、行政等
- ◆定員 会場：60名（1診療所3名迄）



- ◆演題（60分）
「医療・介護における心と食のケア
—幸せな老いを生きるために—」

講師 石垣靖子先生
（北海道医療大学 名誉教授）

北大病院で臨床、看護基礎教育、看護管理に携わる
1986年 医療法人 東札幌病院看護部長
1987年 同院理事 副院長（看護職として日本初）看護部長
2002年 北海道医療大学大学院 看護福祉学研究科教授
2016年 同校名誉教授
1992年 エイボン女性大賞受賞

◆シンポジウム（30分）

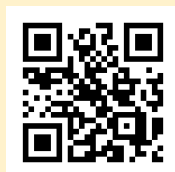
- ・石垣靖子 先生（北海道医療大学名誉教授）
- ・米山武義 先生（米山歯科クリニック院長（駿東郡長泉町開業））
- ・矢部高子 先生（静岡県在宅歯科医療推進室・歯科衛生士）

◆申込締切 令和6年2月7日（水）

◆申込方法 QRコードからお申し込みください。

※会場受講とWEB受講で申込フォームが異なります。

会場受講申込み



<https://questant.jp/q/ILORHH8V>

WEB受講申込み



<https://x.gd/sqtRq>

第3回高齢者歯科医療講習会

講演要旨

医療・介護における心と食のケア ～ 幸せな老いを生きるために ～

石垣靖子 先生

「幸せな老い」とはどんな状態でしょうか。基本的に生活を支える経済的基盤があつてのことですが、まず、「食べる」ことができるということです。自由に動けることも欠かせません。ソーシャルネットワークがあること、すなわち人との交流があることです。この三つはいずれも欠かせませんが、特に「食べる楽しみ」は、高齢者にとって生きる喜びにつながります。

病院や高齢者の施設では、ともすれば栄養が優先しがちになります。高齢者の食事は、個人に合わせて食事を楽しめる工夫を大切にしてほしいですね。食事を楽しむことは人間にとって代えがたい喜びなのでから。そのためには口腔を清潔でよい状態に保つことが原則であることはいうまでもありません。高齢者施設で食べる楽しみを得てから食がすすみ、行動範囲が広がった高齢者もあると聞いております。食べることは高齢者にとってQOLに大きく影響する要因なのです。一品ずつ、少量ずつ、まず、眼で愛でて、香りを楽しみ、そしてゆっくり味わう、会話を楽しみながら。これが”食べる“ことの原則であることは誰もが体験していることです。

加齢に伴って認知症やがんなどの慢性疾患、そして口腔が原因の様々な疾患などは避けられません。しかし、どんな状況になっても自分らしさが尊重され、ひとりのかけがえのない人として遇されたいものです。日本老年医学会は「高齢者の医療およびケアにおいては、苦痛の緩和とQOLの維持・向上に最大限の配慮がなされるべきである」、および「何らかの治療が、患者本人の尊厳を損なったり苦痛を増大させたりする可能性があるときには、治療の差し控えや治療からの撤退も選択肢として考慮する必要がある。」（同学会立場表明 2012）と提唱しております。身体の状態とその人の意思に沿った適切な治療がなされることが望まれます。

「You matter because you are you あなたは大切な人です。なぜならあなたはあなただから」長い間ホスピス緩和ケアに携わってきて、大事してきたシシリー・ソンドースのことばです。。一人一人の高齢者がそのように遇されることを心から願っています。そして何よりも医療・介護に携わるあなた自身に向けてこのことばを言い続けてほしい。

あなたはかけがえのないたった一人の人なのでから。

主 催 一般社団法人 静岡県歯科医師会

お問合せ TEL：054-283-2591

Email：tokusyusika@s8020.or.jp（担当：地域保健部・高齢期歯科専門部）